


お手入れする

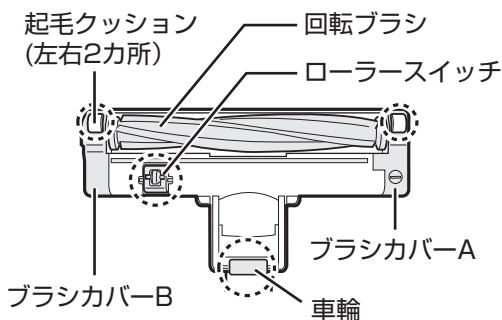
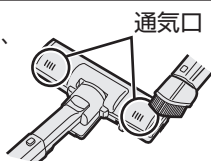
吸込口(回転ブラシ)

お手入れの目安：吸引力が弱くなったり汚れが気になるとき(月1回程度)

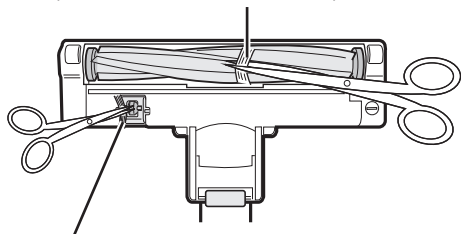
ゴミを取り除く

吸込口に付いたほこりをベンリブラシで吸い取り、部にからみ付いた毛・糸くずを切り取ってから、絞った布で拭く。


通気口に付いたほこりも、ベンリブラシで吸い取ってください。



回転ブラシの溝に沿って切り取る。
(ブラシの毛先を切らない)



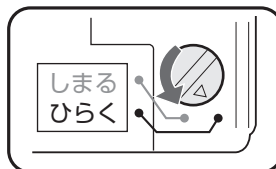
細かい部分についたゴミは先の細いハサミやピンセットなどで取り除く。

部が摩耗した場合は使用を中止し、お買いあげの販売店にご相談ください。

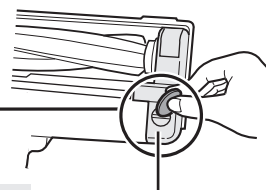
回転ブラシを水洗いする

回転ブラシをはずす

- ① コインなどで「ひらく」まで回して、ブラシカバーAをはずす

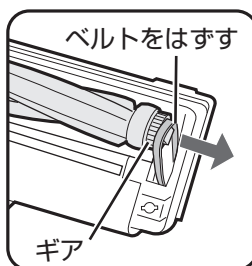


- 爪で回したり、強く回さない。
【けがや破損の原因】



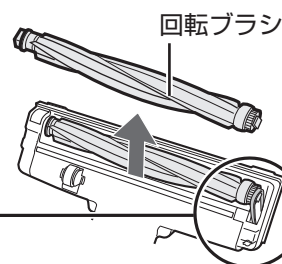
ブラシカバーA

- ② 回転ブラシを持ち上げながらベルトをギアからはずして、回転ブラシをはずす



ベルトをはずす

ギア



回転ブラシ

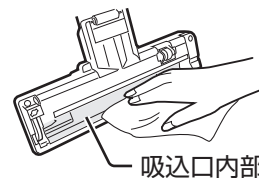
- ③ 回転ブラシを水洗いし、十分に乾かす

お願い

- 洗剤・シンナー・ベンジン類や、お湯(約40℃以上)は使わないでください。変質や変形の原因になります。
- 水洗いした後は、水気をしっかり切り、風通しのよい所で陰干しして、十分に乾かしてください。
- ドライヤーなどの熱風を当てないでください。変形や故障の原因になります。

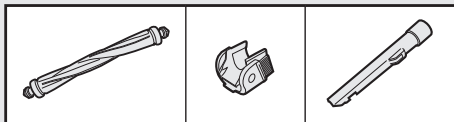
吸込口全体は水洗いできません。

吸込口内部の汚れが気になるときは、水または薄めた中性洗剤を含ませた布で拭き取ってください。



吸込口内部

水洗いできるもの



警告



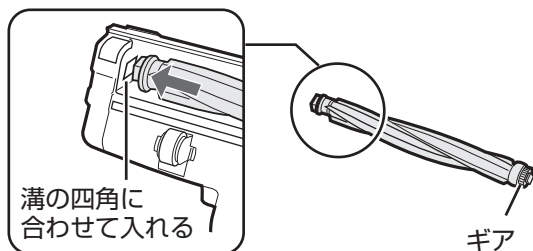
お手入れ時は必ず
電源プラグを抜く

プラグを抜く

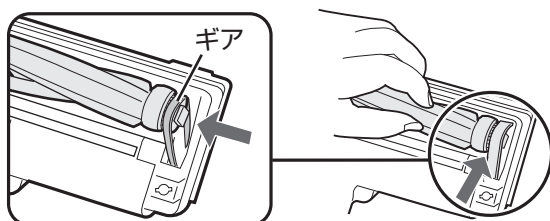
【感電・けがの原因】

回転ブラシを取り付ける

- ① 回転ブラシのギアがないほうを溝の奥まで入れる

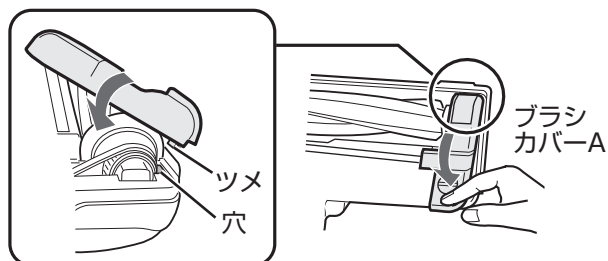


- ② 回転ブラシのギアにベルトをかけ、溝に入れる

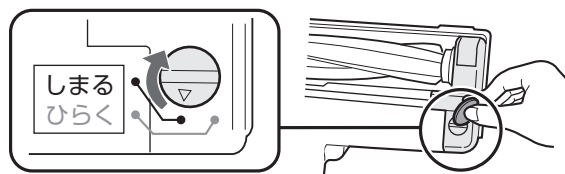


● 左右を逆に入れると取り付けできません。

- ③ ブラシカバーAのツメを穴にかけて取り付ける



- ④ コインなどで「しまる」まで回す

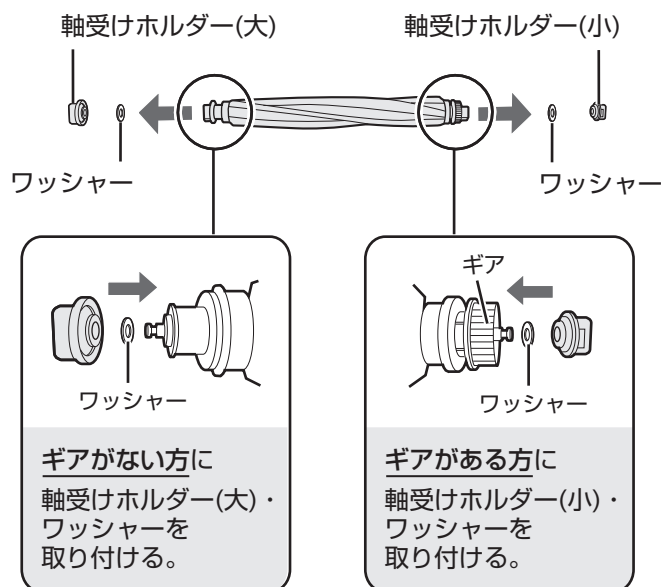


回転ブラシに毛髪などが からみ付いたときは

回転ブラシ両端(黒)の軸受けホルダー・ワッシャーをはずして※、取り除いてください。

※ 平行にまっすぐはずしてください。

軸受けホルダー・ワッシャーを紛失しないよう、
ご注意ください



お願い

- お手入れ後は必ず、軸受けホルダー・ワッシャーを取り付けてください。
- 回転ブラシが取り付けできない場合は、軸受けホルダー・ワッシャーを正しく取り付けているか確認してください。